

## 国立民族学博物館研究報告 vol.10-3; 表紙, 目次ほか

|     |   |
|-----|---|
| 雑誌名 | 国立民族学博物館研究報告  |
| 巻   | 10  |
| 号   | 3   |
| 発行年 | 1986-02-22  |
| URL | <a href="http://hdl.handle.net/10502/00009228">http://hdl.handle.net/10502/00009228</a> |

1985—10.3号

# 国立民族学博物館 研究報告

●  
巫俗儀礼の音

——韓国済州島の事例から—— 櫻井哲男

嘉戎語の能格性—— 長野泰彦

中緯度森林の定住民—— 西田正規

パプアニューギニア、イワム族の農耕に関する民俗分類の予備的報告—— 吉田集而

服装専門検索語辞書(MCD シソーラス)の構造—— 大丸 弘、高橋晴子

12イマーム派シーア主義におけるイマーム・アリーの位置について

——イラン人ムスリムの場合—— 嶋本隆光

民族資料の展示におけるクールビームライト照明の影響について(1)—— 森田恒之

**Labor Supply and Demand in a Complex System:**

**Integrated Agriculture-Aquaculture**

**in the Zhujiang Delta, China—— Kenneth Ruddle**



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

# 国立民族学博物館研究報告

10 卷 3 号

1985 年

## 目次

### 巫俗儀礼の音

——韓国済州島の事例から——……………櫻井哲男…………… 551

嘉戎語の能格性……………長野泰彦…………… 575

中緯度森林の定住民……………西田正規…………… 603

### パプアニューギニア, イワム族の農耕に関する

民俗分類の予備的報告……………吉田集而…………… 615

服装専門検索語辞書 (MCD シソーラス) の構造……………大丸 弘…………… 681  
高橋晴子

### 12イマーム派シーア主義におけるイマーム・アリー的位置について

——イラン人ムスリムの場合——……………嶋本隆光…………… 725

### 民族資料の展示におけるクールビームライト照明の

影響について (1)……………森田恒之…………… 755

### Labor Supply and Demand in a Complex System:

Integrated Agriculture-Aquaculture in the  
Zhujiang Delta, China……………Kenneth Ruddle…………… 773

彙報…………… 821

国立民族学博物館研究報告寄稿要項…………… 823

国立民族学博物館研究報告執筆要領…………… 824

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

---

Vol. 10 No. 3

1985

---

|                                       |   |     |
|---------------------------------------|---|-----|
| SAKURAI, Tetsuo                       | Musical Sounds in Korean Shamanistic<br>Ritual: A Case Study of Cheju Island.....   | 551 |
| NAGANO, Yasuhiko                      | Ergativity of the rGyarong Language .....   | 575 |
| NISHIDA, Masaki                       | Sedentary Life before Agriculture.....  | 603 |
| YOSHIDA, Shuji                        | Preliminary Report of Folk Classification<br>on Iwam Agriculture, East Sepik Province,<br>Papua New Guinea .....                      | 615 |
| DAIMARU, Hiroshi<br>TAKAHASHI, Haruko | The Structure of Costume Thesaurus<br>(MCD Thesaurus).....  | 681 |
| SHIMAMOTO, Takamitsu                  | The Position of 'Ali b. Abi Taleb in Twel-<br>ver Imami Shi' ism (Ithnā 'Ashariyya):<br>The Image of 'Ali among Iranian Muslims ..... | 725 |
| MORITA, Tsuneyuki                     | Color Fading under Cool-Beam Spot Light .....   | 755 |
| RUDDLE, Kenneth                       | Labor Supply and Demand in a Complex<br>System: Integrated Agriculture-Aquacul-<br>ture in the Zhujiang Delta, China .....            | 773 |

## 彙報 (昭和60年7月～ 昭和60年9月)

### 海外における研究・調査・収集活動

| 氏名      | 官職          | 出発        | 帰国         | 行先   |
|---------|-------------|-----------|------------|--|
| 秋道 智彌   | 助手 (第二研究部)  | 60. 7. 2  | 60. 9. 1   | アメリカ合衆国, ミクロネシア連邦, ソロモン諸島, バヌアツ共和国, フィジー, 西サモア, 仏領ポリネシア, チリ, ボリビア, ペルー |
| 江口 一久   | 助教授 (第三研究部) | 60. 7. 4  | 60. 7. 30  | カナダ  |
| 松原 正毅   | 助教授 (第二研究部) | 60. 7. 19 | 60. 9. 22  | 中華人民共和国  |
| 藤井 龍彦   | 助教授 (第四研究部) | 60. 7. 20 | 60. 12. 20 | ボリビア, ペルー, アルゼンチン  |
| 松山 利夫   | 助教授 (第一研究部) | 60. 7. 23 | 60. 7. 31  | 韓国   |
| 加藤 九祚   | 教授 (第四研究部)  | 60. 7. 25 | 60. 8. 18  | ソ連   |
| 佐々木史郎   | 助手 (第一研究部)  | 60. 7. 25 | 60. 8. 18  | ソ連   |
| 石毛 直道   | 助教授 (第四研究部) | 60. 7. 25 | 60. 9. 3   | インドネシア, 台湾   |
| ケネス・ラドル | 助教授 (第五研究部) | 60. 7. 25 | 60. 9. 11  | インドネシア, 中華人民共和国, フィリピン, タイ   |
| 藤井 知昭   | 教授 (第二研究部)  | 60. 7. 28 | 60. 8. 13  | マレーシア, シンガポール  |
| 杉本 尚次   | 教授 (第五研究部)  | 60. 7. 29 | 60. 8. 7   | 西サモア, フィジー, トンガ王国  |
| 梅棹 忠夫   | 館長          | 60. 8. 1  | 60. 8. 14  | 中華人民共和国  |
| 佐々木高明   | 教授 (第二研究部)  | 60. 8. 1  | 60. 8. 14  | 中華人民共和国  |
| 周 達生    | 助教授 (第一研究部) | 60. 8. 1  | 60. 8. 14  | 中華人民共和国  |
| 長野 泰彦   | 助教授 (第一研究部) | 60. 8. 1  | 60. 8. 14  | 中華人民共和国  |
| 栗田 靖之   | 助教授 (第二研究部) | 60. 8. 21 | 60. 11. 6  | インド, ブータン  |
| 八杉 佳穂   | 助手 (第四研究部)  | 60. 9. 2  | 60. 10. 18 | メキシコ, グアテマラ  |
| 大森 康宏   | 助教授 (第三研究部) | 60. 9. 6  | 60. 10. 6  | 連合王国, ドイツ, フランス, イタリア, ユーゴスラビア   |
| 佐々木高明   | 教授 (第二研究部)  | 60. 9. 8  | 60. 9. 19  | オーストラリア, ニューゼーランド  |
| 小山 修三   | 助教授 (第四研究部) | 60. 9. 8  | 60. 9. 26  | オーストラリア, ニューゼーランド  |
| 大塚 和義   | 助教授 (第一研究部) | 60. 9. 24 | 60. 10. 26 | 中華人民共和国  |
| 吉本 忍    | 助手 (第二研究部)  | 60. 9. 24 | 60. 10. 11 | 西ドイツ, オランダ, スイス  |
| 梅棹 忠夫   | 館長          | 60. 9. 26 | 60. 10. 7  | アメリカ合衆国, カナダ   |

### 来館者抄

7月3日 中国陝西省文物保護考察団  
 団長 許 汝 州 (陝西省文物局長)  
 団員 貴 欽 生 (上海博物館研究員)  
 鐘 万 勳 (西安交通大学電機系副教授)  
 徐 式 如 (西安交通大学電子工程系副教授)  
 潘 維 民 (西北建築設計院電気工程師)

趙 漢 文 (西北建築設計院空調供熱通風工程師)  
 張 臘 梅 (陝西省歴史博物館等建処空調動力工程師)  
 単 曄 (陝西省博物館助理研究員)  
 通訳 苗 雅 軍 (陝西省文物局対外文展処幹部)  
 7月4日 中国『故宮博物院展』代表団  
 団長 于 堅 (故宮博物院副院長)

- 副団長 金 楓 (文化部文物事業管理局外事処処長)
- 団員 李 毅 華 (故宮博物院“紫禁城”出版社社長)
- 梁 匡 忠 (故宮博物院保管部)
- 翻訳 巨 東 梅 (文化部文物事業管理局外事処翻訳)
- 7月5日 中国友好協会訪日代表团
- 団長 黄 世 明 (中日友好協会秘書長, 中国人民政治協商会議全国委員会委員)
- 秘書長 陳 永 昌 (中日友好協会理事)
- 団員 吳 治 安 (中日友好協会理事)
- 黄 正 軒 (中国人民对外友好協会広東省分会副秘書長)
- 駱 新 華 (中国人民对外友好協会湖北省分会副秘書長)
- 鄭 玉 在 (中国人民对外友好協会上海市分会理事)
- 王 廉 元 (中国人民对外友好協会陝西省分会理事)
- 蘭 庚 未 (甘肅省敦煌県副県長)
- 王 雲 濤 (中日友好協会職員)
- 何 及 鋒 (中国人民对外友好協会職員)
- 7月24日 竹内 黎一 (科学技術庁長官)
- 7月29日 R. Joy HENDRY (連合王国, Lecturer in social Anthropology, Dept. of Social Studies, Oxford Polytechnic)
- 8月1日 金 東 旭 (韓国, 檀国大学校大学院教授兼東洋学研究所長)
- 李 鎔 萬 (韓国, 光云大学行政学科教授)
- 8月2日 Ngangura KASOLE (ザイール, ザイール情報大臣首席顧問)
- 8月9日 Martin WEYL (イスラエル, イスラエル国立博物館長)
- 8月26日 Willard L. BOYD (アメリカ合衆国, シカゴ・フィールド自然史博物館長)
- 8月26日 松永 光 (文部大臣)
- 8月27日 Ella L. WISWELL (アメリカ合衆国, ハワイ大学ヨーロッパ語学科名誉教授)
- 8月30日 熊谷 信昭 (大阪大学長)
- 9月3日 Tim INGOLD (アメリカ合衆国, Senior Lecturer, Department of Social Anthropology, University of Manchester)
- 9月7日 広海 孝一 (一橋大学教授)
- 9月9日 Richard R. RIES (アメリカ合衆国, Deputy Assistant Director of the U.S. National Science Foundation)
- Eduardo FELLER (アメリカ合衆国, Head of Industrial Countries Section, National Science Foundation)
- Alan MILSAP (アメリカ合衆国, Program Manager for US-Japan, Australia and New Zealand Program, National Science Foundation)
- 9月9日 田村すず子 (早稲田大学教授)
- Jose Maria SATRUSTEGUI (スペイン, バスク語アカデミー事務総長)
- 9月10日 中国人民外交学会
- 韓 念 竜 (中国人民外交学会会長)
- 吳 曉 達 (中国人民外交学会副会長兼秘書長)
- 鄭 洪 慶 (国家経済体制改革委員会規制局副局長)
- 黄 智 政 (中国人民外交学会副処長)
- 吳 從 勇 (外交部亞洲司三秘)
- 韋 来 広 (韓念竜会長秘書)
- 趙 静 波 (中国人民外交学会工作人員)
- 9月17日 Peter SEITEL (アメリカ合衆国, Director, Office of Folklife Programs, Smithsonian Institution)
- Alicia Maria GONZALEZ (アメリカ合衆国, Office of Folklife Programs Smithsonian Institution)
- 9月20日 Khamsing SRINAWK 夫妻 (タイ, 作家)
- 9月24日 Claus KERNIG (西ドイツ, トリア大学政治学教授)
- 9月25日 中曾根康弘 (内閣総理大臣)
- 9月27日 Carlos GOROSTIZA (アルゼンチン, 文化庁長官)

## 国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
  - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
  - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
  - (3) その他本館において適当と認められた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1  
国立民族学博物館内  
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

## 国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限りに、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]  
[Leach 1961: 123]  
[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
  - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
  - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本語の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311-330。

Bohannon, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。



Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.  
In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language,  
The M. I. T. Press, pp. 23–63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代的エクスタシー技術——』 堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 10卷3号

〔監 修〕

梅 棹 忠 夫

〔編集委員長〕

竹 村 卓 二

〔編集委員〕

永ノ尾 信 悟

大 塚 和 夫

君 島 久 子

ケネス・ラドル

崎 山 理

周 達 生

杉 村 棟

須 藤 健 一

垂 水 稔

中 山 和 芳

八 杉 佳 穂

和 田 正 平

---

昭和61年2月22日発行 非売品

国立民族学博物館研究報告 10卷3号

編集・発行 国立民族学博物館  
〒565 吹田市千里万博公園10-1  
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社  
〒602 京都市上京区下立売通小川東入  
TEL 075 (441) 3155 (代表)

---

Bulletin of the National Museum of Ethnology  
vol.10 no.3  
1985

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| <b>SAKURAI, Tetsuo</b>      | <b>Musical Sounds in Korean Shamanistic Ritual:<br/>A Case Study of Cheju Island</b>   |
| <b>NAGANO, Yasuhiko</b>     | <b>Ergativity of the rGyarong Language</b>   |
| <b>NISHIDA, Masaki</b>      | <b>Sedentary Life before Agriculture</b>   |
| <b>YOSHIDA, Shuji</b>       | <b>Preliminary Report of Folk Classification on<br/>Iwam Agriculture, East Sepik Province, Papua<br/>New Guinea</b>                    |
| <b>DAIMARU, Hiroshi</b>     | <b>The Structure of Costume Thesaurus (MCD<br/>Thesaurus)</b>  |
| <b>TAKAHASHI, Haruko</b>    |  |
| <b>SHIMAMOTO, Takamitsu</b> | <b>The Position of 'Ali b. Abi Taleb in Twelver<br/>Imami Shi' ism (Ithnā 'Asharīyya): The Image<br/>of 'Ali among Iranian Muslims</b> |
| <b>MORITA, Tsuneyuki</b>    | <b>Color Fading under Cool-Beam Spot Light</b>   |
| <b>RUDDLE, Kenneth</b>      | <b>Labor Supply and Demand in a Complex<br/>System: Integrated Agriculture-Aquaculture<br/>in the Zhujiang Delta, China</b>            |



National Museum  
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan  
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X